

様式第1号(第6条関係)

設置の工事開始30日前までに提出

工場等設置届出書									
令和 3 年 2 月 2 日									
敦賀市長 殿									
住所 福井県敦賀市中央町2丁目〇番〇号									
氏名 〇〇〇株式会社 (印)									
代表取締役 〇〇 〇〇									
〔法人にあつてはその名称〕 及び代表者の氏名									
敦賀市環境保全条例第29条及び第30条の規定により、工場等の設置について関係書類を添えて次のとおり届け 出ます。									
工場等の名称		〇〇〇株式会社 (電話番号 0770-**-****)							
工場等の所在地		敦賀市中央町2丁目〇番〇号							
業種・作業の種類		自動車修理業		主要生産品目		自動車の点検、修理			
製品の製造工程 又は作業の方法		別紙番号 ()のとおり							
用途地域の種類		準工業地域		排水の放流先		笙の川			
資本金又は出資金		500万円		作業時間		通常		8時00分～17時00分	
						残業		17時00分～20時00分	
従業員数		常時	10人	附近 見取図	100メー トル 以内	別紙番号 ()のとおり			
		最盛時	15人						
工事着工予定		令和3年3月5日		工事完成予定		令和3年7月30日			
自動車の出入口が 接する道路の幅員		20m		公害防止担当部課 (責任者氏名)		環境課 (△△ △△)			
※ 受付欄	受付番号	第 号		公害関係法届出状況					
	受付年月日	令和 年 月 日		大気汚染防止法		有 無			
				水質汚濁防止法		有 無			
				騒音規制法		有 無			
				悪臭防止法		有 無			
	整理番号	第 号		福井県公害防止条例		有 無			

敷地・建物の状況	敷地面積		7,000㎡		建築面積		3,000㎡	
	工場等内の施設配置及び用途		別紙番号(1)のとおり					
	作業場の棟別構造面積	建及び番号 名称	(①) 機 械 室	(②) コンプレッサー室	(③)	()	()	()
		構造	鉄骨造	鉄骨造				
		階数	2	1				
		建築面積(㎡)	1,000	250				
		床面積(㎡)	1,500	250				
		作業場面積(㎡)	1,000	250				
平面図・立面図別紙番号	別紙○	別紙○						
主たる施設	種別番号		1	2				
	種類		コンプレッサー	コンプレッサー				
	台数		1	2				
	配置		別紙番号(2)のとおり					
総電力使用量			自家用発電能力		燃料	種類	いおう分(%)	総使用料 t・kl・Nm ³ ／日
50,000KWH／日			KWH／日					／日
総用水量			取水別	地下水	上水道	その他		総排水量
300m ³ ／日				70	230			300m ³ ／日
産業廃棄物の内容			種類		排出量		処理方法	
			廃液		0.25 t／日		業者引取り	
排出する有害物質			なし		kg／日			

揚水能力70ℓ／分以上の場合は条例28条に該当→水量測定器の設置、水量報告

- 備考
- ※印の欄には記入しないこと。

「別紙番号」は届出書に添付する各別紙に一連番号を記入すること。

「用途地域」は都市計画法に規定する用途地域を、「排水放流先」は工場排水を排出する河川、下水路の名称を記入すること。

「附近見取図」は100メートル以内の状況の見取図を作成すること。

「作業場の棟別構造面積の立面図」には、壁、屋根、窓又は戸等の材質、長さ、高さ、厚さ等を記入すること。

届出書記載事項の内訳は別紙3から別紙6までの該当する様式を使用すること。

別紙 1 施設の配置・用途・給排水系統図

- ・事業所付近見取図、位置地図
 - ・事業所内地図
 - ・給排水系統図
- (記載しきれない場合は別紙を添付する)

- 備考
- 1 給排水系統については、給水(青)及び排水(赤)の色分けをすること。
 - 2 図面内容が簡単な場合には主たる施設を併記しても差支えない。

別紙 2 主たる施設の配置図

事業所内の施設配置図（1、2枚目に記載した主たる施設の配置が分かるように記載する）

備考 主たる施設が多数ある場合には、公害の種類別に配置図を作成すること。

ばい煙発生施設の概要

施設の設置	着工予定年月日	令和3年7月1日	使用開始予定年月日	令和3年8月2日			
施設の構造	ばい煙発生施設の種類		大樹汚染防止法施行令別表1				
	名称及び型式		焼却炉				
	規格	伝熱面積	m ²	火格子面積又は羽口面断面積	8.0 m ²		
		蒸気発生量	t/時	バーナーの容量	550 l/時 kg/時		
		原料処理能力	0.5 t/時	変圧器の定格容量	KVA		
使用の方法	使用状況	1日の使用時間	午前午後 8時から 午前午後 5時まで	1ヵ月間の使用日数	20日間		
		季節変動	無し				
	原材料	種類	貴金属	使用割合	100%		
		1日の使用量	15 t/日	原料中のいおう分	<0.01%		
	燃料	種類	再生油	比重	0.88	混焼割合	100
		1日の使用量	200 l/日 kg/日	燃料中のいおう分	<0.5%		
		1時間の使用量	最大 90 l/時	通常	80 l/時		
	処理の方法	処理施設の名称及び型式		水質汚濁防止法施行令別表			
		処理能力	風量	120,000 Nm ³ /分	使用水量	500 l/分	
ばい煙の濃度			すすその他の粉じん	処理前 0.55 g/Nm ³	処理後 0.044 g/Nm ³	捕集効率	92%
いおう酸化物			処理前 0.0076(容量比%)	処理後 0.00076(容量比%)	捕集効率	90%	
煙突フード等の大きさ		高さ	19.0 m	頂口径	0.65 m	独立・建屋付属	
排出ガス量		最大	7,000Nm ³ /時	通常	6,000 Nm ³ /時		
排出ガス温度		60℃					
排出ガス速度		最大	7.5m/秒	通常	6.0m/秒		
ばい煙量(いおう酸化物の量)		最大	0.044 Nm ³ /時	通常	0.022Nm ³ /時		
施設から発生する廃棄物の種類及び処理の方法		排ガス処理施設及び湿式集じん施設で処理					
添及び図書類	1 ばい煙の排出及び処理作業の系統概要説明書						
	2 ばい煙の量等に関する説明書						
	3 ばい煙発生施設の構造概要図						
	4 ばい煙の処理施設の概要図及び設置場所を示す図面						
	5 工場等の敷地内のばい煙発生施設の配置図						
補正煙突高 He		21.5 m	許容ばい煙量	K値(8.0) 3.7 Nm ³ /h			

備考 1 新設の届け出にあつては着工予定年月日を、既設の届け出にあつては設置年月日を記入すること。
2 既設の届け出にあつては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

別紙 4

粉 じ ん 発 生 施 設 の 概 要

施設の設置	着工予定年月日		令和 年 月 日		使用開始予定年月日		令和 年 月 日	
施設の使用の方法 の構造及び	粉じん発生施設の 種類				能力		1 / 時 kg / 時	
	1 日の使用時間		午前 時から 午後 時まで		1 カ月間の 使用日数		日間	
	原(薬品を含む) 材	種類						
		使用割合						
		1 月間の 使用量						
	作業工程・反応工程		別紙番号()のとおり					
処理の方法	処理施設の種類・名称及び型式							
	処理能力	排気型式	自然 押込 誘引					
		風量	m ³ / 分				使用水量 1 / 分	
	粉じんの種類							
	粉じんの濃度	処理前	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm		
		処理後	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm	g / Nm ³ ppm		
		捕集効率	5 μ 以上の粒子	%	%	%	%	
			0.5 ~ 5 μ の粒子	%	%	%	%	
	排気筒		高さ	m		口径	m	
	排気ガス量及び温度		最大	Nm ³ / 分		通常	Nm ³ / 分 ℃	
排出口から敷地境界線までの最短水平距離		m						
施設から発生する廃棄物の種類及び処理の方法								
添及び図書類	1 粉じんの排出及び処理作業の系統概要説明書 2 粉じんの量等に関する説明書 3 粉じんの発生施設の構造概要図 4 粉じんの処理施設の概要図及び設置場所を示す図面 5 工場等の敷地内の粉じん発生施設の配置図							

備考 1 新設の届け出にあつては、着工予定年月日を、既設の届け出にあつては設置年月日を記入すること。

2 既設の届け出にあつては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

汚 水 及 び 廃 液 の 概 要

施設 設置 の 置	着工予定 設置年月日	令和3年7月1日				令和 年 月 日				
	使用開始予定年月日	令和3年8月2日				令和 年 月 日				
施設 の 構造 及 び 使用 方法	施設の種類		排ガス洗浄施設							
	型式及び能力		充填式							
	状況	1日の使用時間	午前 午後	8時から	午前 午後	17時まで	午前 午後	時から	午前 午後	時まで
		季節的変動の概要	なし							
	原材料	種類	苛性ソーダ							
		1日の使用量	200kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	
汚水及び廃液施設からの排水量		平均 500m ³ /日 最大 700m ³ /日				平均 m ³ /日 最大 m ³ /日				
処理 の 方 法	処理施設の種類・名称 及び型式	排水処理設備								
	着工予定 設置年月日	令和3年7月1日				令和 年 月 日				
	使用開始予定年月日	令和3年8月2日				令和 年 月 日				
	処理施設 の構造等	規模								
		能力								
		処理方式	中和凝集沈殿分離方式							
	処理場面積	25,000 m ²				m ²				
	処理施設 の使用状況	1日の使用 時間	午前	8時から	午後	5時まで	午前 午後	時から	午前 午後	時まで
		季節的変動の概要	なし							
	処理に要 する消耗 費材品	名称								
		用途	中和、凝集							
		1日の使用量								
	建設費及び毎月の維持費		2000 千円							
		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後		
		日間平均	最 大	日間平均	最 大	日間平均	最 大	日間平均	最 大	
排 出 量(m ³ /日)		3,300	4,000	3,300	4,000					
施設排水 から出る 水質	pH	6～8	6～8	6～8	6～8					
	SS	3	5	2	3					
	COD	8	5	2	3					
排 出 先										
残さ	種類	中和滓								
	1カ月の生成量	200 t								
	処理方法の概要	処理業者に委託								

備考 1 新設の届け出にあつては、着工予定年月日を、既設の届け出にあつては設置年月日を記入すること。
2 既設の届け出にあつては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

別紙 6

騒音又は振動の概要

工場等における施設番号		1	2		
種類・名称・型式		空気圧縮機 w-35	空気圧縮機 w-40		
公称能力		3.5kw	7.5kw		
数		1	1		
着工予定 設置年月日		3年7月1日	3年7月1日		
使用開始予定年月日		3年8月2日	3年8月2日		
使用状況	1日の使用時間・ 使用回数	8時～17時 8時間／回 1回／日 20回／月	8時～17時 8時間／回 1回／日 20回／月	時～時 時間／回 回／日 回／月	時～時 時間／回 回／日 回／月
	季節変動	無し	無し		
騒音又は振動 の防止の方法		防振ゴムにて 対策	防振ゴムにて 対策		
事業用 自動車	種類				
	用途				
	積載量				
	台数				
	1時間当たりの 出入回数				
	1日当たりの 出入回数				

備考 「騒音又は振動の防止の方法」欄には、消音器、つり基礎、遮音塀等騒音又は振動の防止に関して講ずる措置を記入すること。できる限り図面、表を利用すること。

別紙 7

廃棄物の種類・発生量・処理方法の概要

使用 原材 料	種 類				
	1 日 の 使 用 量				
	季 節 変 動				
廃 棄 物 の 種 類					
発 生 量 (t / 月)			()	()	()
処 理 方 法	自 家 処 理 (%)	処理施設の種類・名称・形式・能力			
		処理後の残さの量 (t / 月) ・ 処理方法			
		処理費用 (円 / 月)			
		処 理 方 法 の 概 要	△別紙番号()のとおり		
	委 託 又 は 売 却 (%)	受託者又は買取者の氏名・名称・住所			
		受託者又は買取者の処理方法			
		委託費用又は売却代金 (円 / t)			
と理講 く方じ場 に法な合 処をい	清掃業者へ委託 (t / 月)				
	投 棄 (t / 月)		()	()	()
無 害 化 ・ 安 全 化 の 措 置			△別紙番号()のとおり		
処理についての問題点・将来対策			△別紙番号()のとおり		
今 後 五 年 間 の 廃 棄 物 発 生 量 の 見 通 し (t / 年)	種 類				
	年 度				

- 備考 1 「発生量」の欄の()内には、計量器、目測、車数等計量方法を記入すること。
- 2 「投棄」欄の()内には、下水、河川、池湖沼、田畑、空地、山間、海洋等投棄場所を記入すること。
- 3 「無害化・安全化の措置」とは、廃棄物に含まれるクローム、ニッケル、銅、亜鉛、水銀、シアン、ヒ素等の有害物質、大腸菌群等により、直接又は処理に伴い生ずる影響の防止について記入すること。
- 4 「処理についての問題点、将来対策」は、できるだけ具体的に記入すること。